

抗がん剤の調剤・投与及び動物の世話などにおける特別な費用について

「抗がん剤は、がん細胞だけでなく正常な細胞にも影響を及ぼす」

これはヒト医療において、抗がん剤で治療される患者さんに対して考えられていました。昨今、それだけでなく抗がん剤を調剤、そして投与、そして患者さんの世話などを行う医療従事者にも影響があることが知られるようになり、医療従事者の抗がん剤からの曝露対策（抗がん剤に晒されないようにすること）が行われるようになっていきます。

この考えは動物医療においても同じであり、動物医療従事者への曝露対策が行われています。

当院においても様々な曝露対策をおこなっており、この事により抗がん剤の投与時にかかる費用として、治療費以外に曝露対策の各種費用を別途お願いしております。

動物医療従事者（獣医師、看護師、スタッフなど）の健康を守るため、この点、ご理解頂くようお願い申し上げます。

① ご請求項目：処方料 抗がん剤調合器材～各種

調剤時、投与時における抗がん剤の曝露防止のために使われる製品の費用です。

- ・インジェクターアールロック、プロテクター、プライミングセット、輸液セットなど（当院では、BDファシール・システムを使用）

② ご請求項目：処置料 抗がん剤投与/入院/管理 1 日

各種曝露対策を行っているためにかかっている費用です。

- ・生物学的安全キャビネット内での調剤

調剤時に院内の空気に抗がん剤を漏れ出さない様にする為の特別な施設

- ・個人防衛具（PPE）の着用

獣医師、看護師、スタッフなどが調剤、投与、入院中の世話などに着用

調剤や投与時また、投与後に排泄される排泄物からの曝露防止。

- ・投与時の敷物 ベットシートなど

投与時の漏洩、また入院中の動物の排泄物からの曝露防止のため。

- ・スピルキット

抗がん剤が室内などにこぼれた時の処理キットを常備しております。